

株式会社 東ソー分析センター主催

マテリアルサイエンスの 最前線

—環境問題の解決に向けた 技術と科学—

参加費

無 料
各日 100名
先着

第15回「分析技術セミナー」のご案内

東京
会場

2020年**5月13日(水)** 13:00~17:00 (受付12:30より)
東京国際フォーラム D5 ※申込期限: 2020年5月6日(水)

大阪
会場

2020年**6月10日(水)** 13:00~17:00 (受付12:30より)
メルパルク大阪 3階ボヤール ※申込期限: 2020年6月3日(水)

※定員になり次第、お断りすることもございます。

13:00
▼
13:10

開会の挨拶

13:10
▼
15:10

講 演

「プラスチック材料の 技術と科学」

(株)東ソー分析センター 高取 永一

持続可能性の点でプラスチック材料は岐路にあると言えます。そこで、材料としての特質を今一度振り返るために、本講演では、まず、その歴史と現状について述べます。その後、平均分子量と諸物性の関係について、これまでの検討結果で明らかになった点を述べます。

「生分解性高分子の 劣化挙動について」

(株)東ソー分析センター 松本 良憲

環境保全の観点から、汎用高分子の代替として生分解性高分子が注目されています。生分解性高分子は微生物だけでなく、光や熱などの様々な要因で分解が進行します。その劣化機構には不明点が多く、本講演では光劣化挙動に焦点を絞り、光劣化処理したモデル試料を用いて分子構造、分子量や各種物性との関係を解析した内容を紹介しします。

コーヒーブレイク

15:30
▼
16:30

「プラスチック材料の 水平マテリアルリサイクル」

福岡大学教授 八尾 滋 先生

環境汚染の解決と循環型経済社会の構築には、効率的なプラスチックマテリアルリサイクル手法の確立が不可欠です。我々は廃棄プラスチックの物性低下が内部構造変異による物理劣化であり、成形最適化により物性再生が可能であることを明らかにしました。この知見はこれまでの再生不可能な化学劣化という認識にパラダイムシフトをもたらすものです。当日は開発した再生手法についても解説します。

16:30
▼
16:35

閉会の挨拶

16:35
▼
17:00

講師との交流時間

東京会場

開催日 2020年5月13日(水)

時間 13:00～17:00(受付開始12:30)

申込期限 2020年5月6日(水)
(定員になり次第、お断りすることもあります)

会場 東京国際フォーラム D5
所在地：東京都千代田区丸の内3丁目5-1
TEL：03-5221-9000



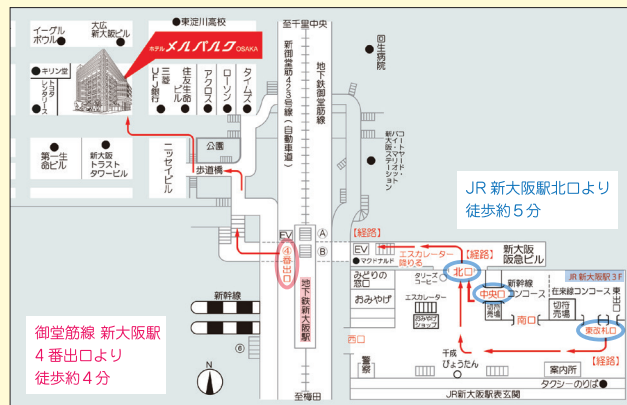
大阪会場

開催日 2020年6月10日(水)

時間 13:00～17:00(受付開始12:30)

申込期限 2020年6月3日(水)
(定員になり次第、お断りすることもあります)

会場 メルパルク大阪 3階ボヤール
所在地：大阪府大阪市淀川区宮原4丁目2-1
TEL：06-6350-2111



参加費用 無料 **定員** 各100名(先着申込順)

お申込み方法 下記の申込事項をご記入の上、メールでお申し込みください。

＜お申し込み先＞ (株) 東ソー分析センター 営業企画部

担当者 林 (TEL：03-6435-4321)

※ご質問などお気軽にご連絡ください。

E-mail: eigyou@tosoh-arc.co.jp

第15回分析技術セミナー参加申込書

下記項目をご記入ください。チェックボックスには、☒ チェックマークのご記入をお願いします。

参加会場	☐ 東京会場 5月13日(水) ☐ 大阪会場 6月10日(水)	
氏名	フリガナ	
勤務先名	所属部署	
ご連絡先	(〒 ー) 都 道 区 市	
	府 県 町 村	
	☐ 勤務先 ☐ ご自宅 ☐ その他	
	電話番号	FAX番号
メールアドレス	@	

※ご記入頂いた個人情報は、今回のセミナーのご連絡や、今後の弊社開催のセミナーのご案内にのみ使用いたします。